

# Subversionコマンドを使用したCPS Policy Builderへのリポジトリのインポートとエクスポート

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[便利なSvnコマンド](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Policy Suite(CPS)の便利なSubversion(svn)コマンドについて説明します。

## 前提条件

### 要件

Linuxオペレーティングシステムに関する知識があることが推奨されます。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

Svnは、ソースコードを追跡するリポジトリです。構成の各バージョンには番号が付けられ、svnリポジトリ履歴に保存されます。したがって、任意のバージョンの設定に戻すことができます。Policy Builderでは、GUI(Graphic User Interface)を使用してこれを行う方法はありませんが、svnコマンドラインツールを使用することで、どのバージョンの設定でも最新のリビジョンにすることができます。

## 便利なSvnコマンド

次のコマンドは、pcrfclient01のsvnを管理するために使用されます。これらはすべてのコマンドではなく、一般的に例で使用されるコマンドのみです。

このコマンドは、システムで使用可能なリポジトリのリストを表示します。

```
svn ls http://pcrfclient01/repos
```

run、configuration、およびstarhub\_configuration\_prodの各リポジトリを次に示します。

```
[root@pcrfclient01 ~]# svn ls http://pcrfclient01/repos/
configuration/
run/
starhub_configuration_prod/
[root@pcrfclient01 ~]#
```

svn repo runのログを参照して、バージョンを確認します。

```
svn log http://pcrfclient01/repos/run
```

これは、実行レポ情報のログを示します。これはr345で、コメントがあります。

```
[root@pcrfclient01 ~]# svn log http://pcrfclient01/repos/run
-----
r345 | broadhop | 2014-12-08 12:22:48 -0700 (Mon, 08 Dec 2014) | 1 line
removed more "-CO3" from sessionmgr name
-----
```

以前のバージョンを見つけるには、すべてのsvnリポジトリのログを確認します。

```
svn log http://pcrfclient01/repos
```

```
[root@pcrfclient01 ~]# svn log http://pcrfclient01/repos | more
-----
r345 | broadhop | 2014-12-08 12:22:48 -0700 (Mon, 08 Dec 2014) | 1 line
removed more "-CO3" from sessionmgr name
-----
r344 | broadhop | 2014-12-08 12:22:32 -0700 (Mon, 08 Dec 2014) | 1 line
removed more "-CO3" from sessionmgr name
-----
r343 | broadhop | 2014-12-08 12:21:59 -0700 (Mon, 08 Dec 2014) | 1 line
removed more "-CO3" from sessionmgr name
-----
```

run repository svnデータベースをエクスポートします。

```
svn export http://pcrfclient01/repos/run run_config
```

これにより、現在のsvnデータベースがローカルディレクトリにエクスポートされます run\_config.

```
[root@pcrfclient01 ~]#  
[root@pcrfclient01 ~]# svn export http://pcrfclient01/repos/run run_config  
A run_config  
A run_config/Service-default-_nVmEMLW-EeOaLenhDJbTLQ.xmi  
A run_config/ServiceOption-850M_PREM_PP-_PU4DQNXVEeORFc2I8BVpkA.xmi  
A run_config/ServiceOption-default-_U7DwOLM_EeO_GZnesMYykg.xmi
```

```
[root@pcrfclient01 ~]# ls  
rs.init.sh run_config tony  
[root@pcrfclient01 ~]#
```

実行以外のリポジトリからsvnデータベースをエクスポートします。

```
svn export -r 343 http://pcrfclient01/repos/configuration export_config
```

データベースがエクスポートされます r343 設定リポジトリからローカル export\_config ディレクトリにインストールされて工場から出荷されます。

```
[root@pcrfclient01 ~]# svn export -r 343 http://pcrfclient01/repos/configuration export_config  
A export_config  
A export_config/ServiceOption-default-_nixTcCdEEeGYKLikCB773Q.xmi
```

```
Exported revision 343.  
[root@pcrfclient01 ~]# ls  
export_config rs.init.sh run_config  
[root@pcrfclient01 ~]#
```

svnデータベースをインポートします。

```
svn import exported_data http://pcrfclient01/repos/configuration_import_12062014 -m 'import description'
```

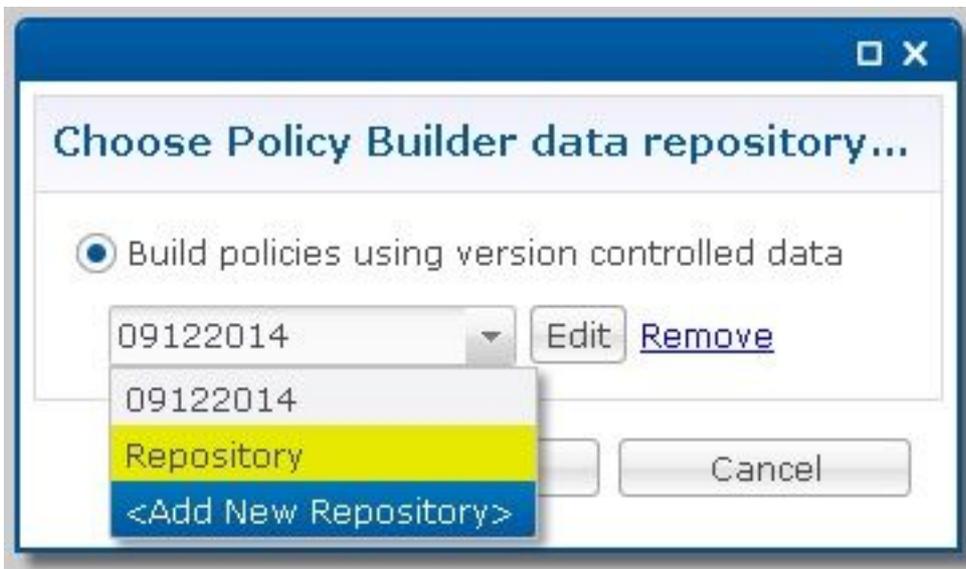
これにより、ローカル・ディレクトリexported\_dataに格納されているsvnデータベースがインポートされ、という名前のリポジトリに配置されます configuration\_import\_12062014.

```
[root@pcrfclient01 ~]# svn import export_config http://pcrfclient01/repos/configuration_import_12062014 -m 'importing new repo 12062014'  
Adding export_config/ServiceOption-default-_nixTcCdEEeGYKLikCB773Q.xmi  
Adding export_config/RadiusAAASettings-_siCA4D48EeG2AZ4zmbGbxg.xmi
```

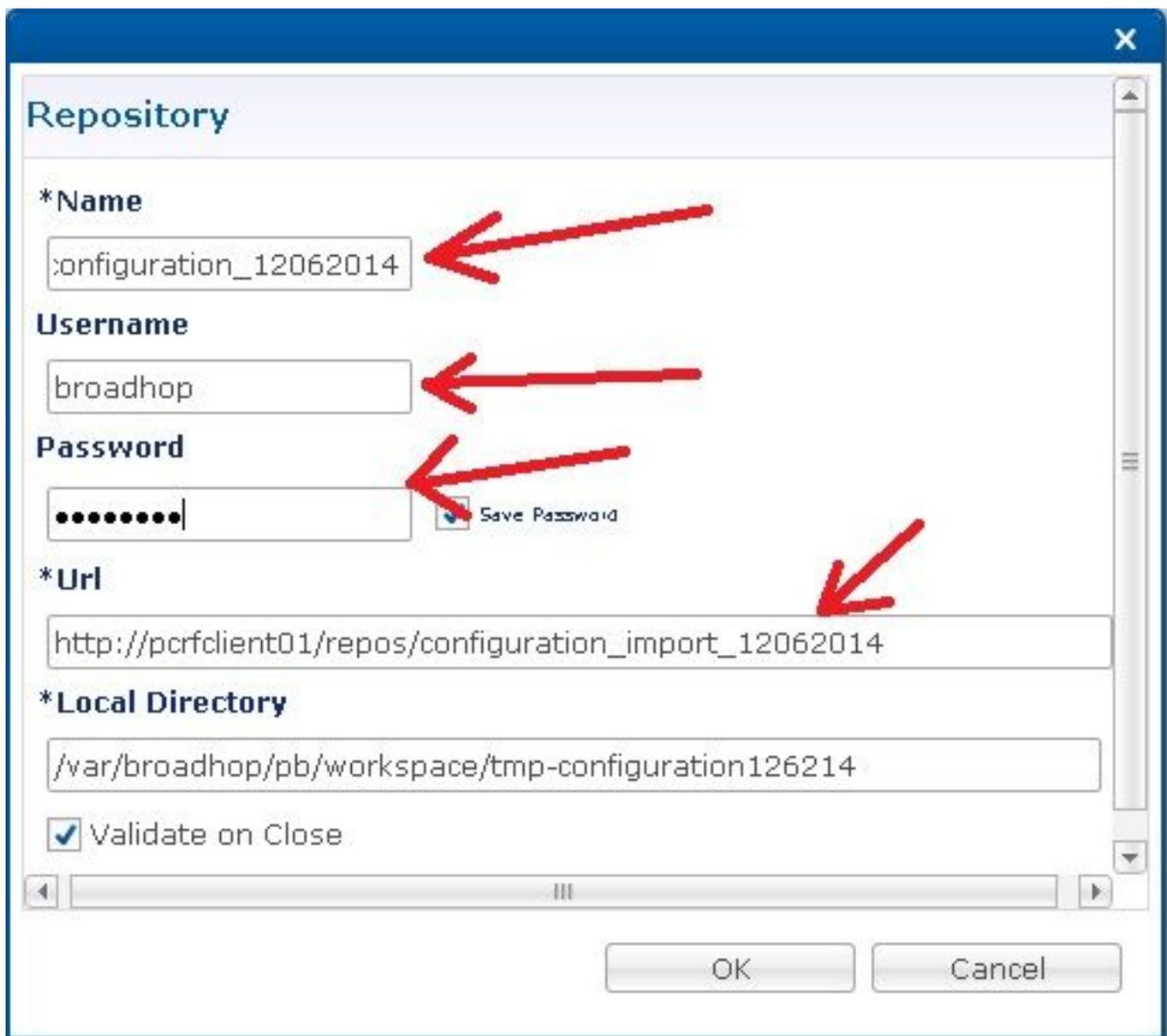
```
Adding export_config/ConfiguredBlueprint-00819999-70ea-4a36-80f6-2f2287f5103f-11820.xmi  
Committed revision 346.  
[root@pcrfclient01 ~]#
```

データベースをインポートした後は、データベースを編集し、次の手順でPolicy Builderで使用できます。

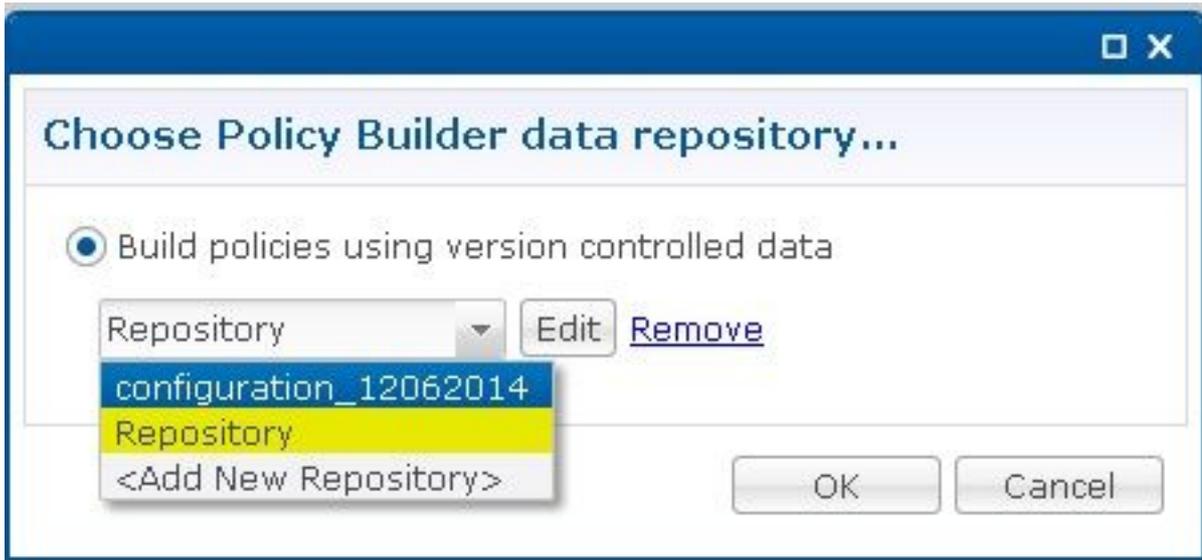
ステップ 1 : Policy Builderで新しいリポジトリを作成します。



ステップ 2：変更：\*Name インポートしたデータベースを識別するものにURLを設定し、設定をインポートしたディレクトリと同じ名前にURLを設定し、ユーザ名とパスワードを設定します。



ステップ 3：次に、ok.PBを使用して、インポートされたこのポリシーセットを編集し、CPSに公開できます。



## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。